

お台場旧防波堤（鳥の島 2 島）における鳥類のモニタリング調査 春季調査（4 月）報告書

平成 29 年 5 月 一般社団法人お台場海づくり協議会

1. 調査目的

お台場海浜公園内防波堤（通称鳥の島）における鳥類の生息環境の保全について検討するために、当地における鳥類の利用状況の現況を把握するとともに、今後の経年変化を把握するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査対象地域

お台場海浜公園内堤防（通称鳥の島） 2 島及び周辺水域（周辺 50m 程度）

3. 調査期日等

調査期日等を表 1 に示す。

表 1 調査期日等

調査期日	調査時間	天候
平成 29 年 4 月 24 日（月）	8：00～14：00	晴れ

4. 調査方法

各調査項目において、倍率 8～10 倍程度の双眼鏡や倍率 20～60 倍程度の望遠鏡などを必要に応じて使い分けながら調査を実施した。また、上陸後に実施する（2）～（4）の調査については、調査精度と定量性を確保するため、2 島に調査員を 1 名ずつ配置し、2 島同時に実施した。

（1）船上センサス

鳥の島の 2 島の 50m 程度沖を船舶により定速で周回しながら、鳥の島及び周辺を観察し、目視または鳴き声などで確認した鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。

（2）ラインセンサス

各島の岸沿いを縦断するセンサスルートを設定し、時速 1～2 km 程度の速度で歩きながら目視または鳴き声などで確認した鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。センサスルートは各島に 1 本を設定し、観察範囲は片側 50m（両側 100m）とした。

(3) 定点観察調査

2島の各2点に眺望の卓越した定点を設定し、目視または鳴き声などで確認した鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。観察半径は50m程度、調査時間は各30分間とした。

(4) 任意観察調査

鳥の島の2島を任意に踏査し、目視または鳴き声などで確認した鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。



写真 1 各調査手法における調査風景



図 1 調査地点図

5. 調査結果

(1) 現地調査結果

- 現地調査の結果、9 目 20 科 29 種の鳥類を確認した（表 2）。
- 確認種の多くは水域やその周辺に生息する鳥類であり、スズガモやカワウ、アオサギ、イソシギ、ユリカモメ、ウミネコ、ハクセキレイなど 17 種を確認した。また、島内には小規模な樹林環境や草地環境が見られ、ヒヨドリやメジロ、カワラヒワなどの森林やその周辺に生息する種を 7 種確認した。そのほか、猛禽類であるハヤブサ、都市部に普通に生息するキジバトやハシブトガラス、スズメなども確認した。
- 確認種は、スズガモやユリカモメ、ツグミなどの冬鳥（ある地域で冬に見られる種）と、カルガモやカワウ、ムクドリなどの留鳥（ある地域で一年中見られる種）、オオヨシキリなどの旅鳥（ある地域で春秋の渡りの途中に見られる種）であった。
- 確認個体数が最も多かった種はカワウであった（表 3～5）。船上センサスにおいて、カワウは 2 島で合計 254 個体を記録した（表 3）。両島において抱卵や巣上の雛、巣

立ち幼鳥を確認したが、巣立った幼鳥はまだ少なく、夏季調査までにさらに巣立つと考えられる。カワウの繁殖期は長く、コロニー（集団営巣地）を形成するため、とくに春季から秋季にかけて個体数が多い。

- 重要種は、スズガモ、カンムリカイツブリ、ダイサギ、コサギ、オオバン、イソシギ、コアジサシ、ハヤブサ、オオヨシキリの合計9種を確認した（表2）。海上ではスズガモ、カンムリカイツブリ、ダイサギ、コサギ、コアジサシを確認した。ダイサギ及びコサギは第六台場で繁殖しており、第六台場を往来する際に鳥の島周辺海域を飛翔する個体を確認した。コアジサシは周辺海域で飛翔や休息する個体を確認した。オオバンとイソシギは護岸で採食や飛翔する個体を確認し、島内のヨシ原ではオオヨシキリを、島の上空ではハヤブサを確認した。このうち、特に保全上重要度の高い種としては、コアジサシ、ハヤブサの2種が挙げられる。

（2） 前回調査との比較

- 平成28年の春季調査と今回の春季調査結果を比較したところ、過年度では島の北側（以下、北側）で23種、島の南側（以下、南側）で29種、合計29種、第2回では北側で24種、南側で25種、合計29種であった（表6）。過年度の確認種のうち、約8割（22種）は今回でも確認されており、鳥類相に大きな変化はなかった。
- 過年度の春季調査結果になく、今回新たに確認した種は、オカヨシガモ、コアジサシ、ハヤブサ、オオヨシキリ、コムクドリ、カワラヒワ、ホオジロの3種であった（表6）。
- **オカヨシガモ、オオヨシキリ、コムクドリの3種は本島において初記録であった。**
- オカヨシガモは南側の護岸で確認された。本種は冬鳥として全国の湖沼等に渡来する種である。冬季調査では確認されていないことや、4月は冬鳥の渡去期であることから、渡りの途中に一時的に記録されたと考えられる。
- オオヨシキリは北側のヨシ原で確認された。本種は九州以北の湖沼等のヨシ原に夏鳥として渡来・繁殖する種である。調査を実施した4月下旬は渡りの時期であることや、島内のヨシ原は小規模であることから、渡りの途中に一時的に記録されたと考えられる。島内のヨシ原は小規模であるが、渡り途中の本種の立ち寄り地として重要な役割を有していると考えられる。
- コムクドリは南側の樹林で確認された。本種についても、オオヨシキリ同様に渡り途中に一時的に立ち寄ったと考えられる。本種は森林性の強い種であるため、島内の樹林環境の発達に伴って記録された可能性がある。
- 種数及び個体数の変化について、調査手法別に比較を行ったが（表7～9）、種数・個体数ともに大きな変化はなかった。

表 2 鳥類確認種目録

No.	目名	科名	種名	調査時期		重要種選定基準			
				春季(4月)		①	②	③	④
				北側	南側				
1	カモ	カモ	オカヨシガモ		○				
2			カルガモ	○	○				
3			スズガモ	○	○				留
4	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	○	○				留
5	ハト	ハト	キジバト	○	○				
6	カツオドリ	ウ	カワウ	○	○				
7	ペリカン	サギ	アオサギ	○	○				
8			ダイサギ	○					VU
9			コサギ	○	○				VU
10	ツル	クイナ	オオバン		○				VU
11	チドリ	シギ	イソシギ	○	○				VU
12		カモメ	ユリカモメ	○	○				
13			ウミネコ	○	○				
14			セグロカモメ	○	○				
15			コアジサシ	○	○			VU	EN
16	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	○			国内	VU	EN
17	スズメ	カラス	ハシブトガラス	○	○				
18		ツバメ	ツバメ	○					
19		ヒヨドリ	ヒヨドリ	○	○				
20		メジロ	メジロ		○				
21		ヨシキリ	オオヨシキリ	○					VU
22		ムクドリ	ムクドリ	○	○				
23			コムクドリ		○				
24		ヒタキ	ツグミ	○	○				
25		スズメ	スズメ	○	○				
26		セキレイ	ハクセキレイ	○	○				
27		アトリ	カワラヒワ	○					
28		ホオジロ	ホオジロ		○				
29			アオジ	○	○				
合計	9 目	20 科	29 種	24 種	25 種	0 種	1 種	2 種	9 種

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

注 2. 重要種選定基準は以下の通りである。

①文化財保護法(昭和 25 年、法律第 214 号)

天:天然記念物 特:特別天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年、法律第 75 号;平成 23 年改訂)

国内:国内希少野生動物 国際:国際希少野生動物

③「環境省レッドリスト 2017 の公表について」(平成 29 年、環境省)における掲載種

EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧 IA 類 EN:絶滅危惧 IB 類 VU:絶滅危惧 II 類

NT:準絶滅危惧種 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④「レッドデータブック東京 2013～東京都の保護上重要な野生生物種(本土部解説版)～」(平成 25 年、東京都)における区部の掲載種

EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧 IA 類 EN:絶滅危惧 IB 類 VU:絶滅危惧 II 類

NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 留:留意種

表 3 船上センサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期		合計 個体数
				春季(4月)		
				北側	南側	
1	カモ	カモ	オカヨシガモ	0	1	1
2			カルガモ	9	19	28
3			スズガモ	7	46	53
4	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	0	1	1
5	ハト	ハト	キジバト	1	0	1
6	カツオドリ	ウ	カワウ	152	102	254
7	ペリカン	サギ	アオサギ	5	0	5
8	チドリ	シギ	イソシギ	1	1	2
9		カモメ	ユリカモメ	3	2	5
10			ウミネコ	2	2	4
11			セグロカモメ	3	1	4
12	スズメ	カラス	ハシブトガラス	1	1	2
13		ツバメ	ツバメ	1	0	1
14		ヒヨドリ	ヒヨドリ	1	0	1
15		ヒタキ	ツグミ	2	0	2
16		スズメ	スズメ	2	0	2
合計	10 目	15 科	19 種	190	176	366

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 4 ラインセンサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期				合計 個体数
				春季(4月)				
				L1		L2		
				個体数	優占度	個体数	優占度	
1	カモ	カモ	カルガモ	2	1%	5	4%	7
2	ハト	ハト	キジバト	4	3%		0%	4
3	カツオドリ	ウ	カワウ	111	82%	104	89%	215
4	ペリカン	サギ	アオサギ	1	1%		0%	1
5	ツル	クイナ	オオバン		0%	1	1%	1
6	チドリ	シギ	イソシギ		0%	1	1%	1
7		カモメ	セグロカモメ		0%	1	1%	1
8	スズメ	カラス	ハシブトガラス	2	1%		0%	2
9		ツバメ	ツバメ	3	2%		0%	3
10		ヒヨドリ	ヒヨドリ	1	1%	1	1%	2
11		メジロ	メジロ		0%	1	1%	1
12		ヒタキ	ツグミ		0%	2	2%	2
13		スズメ	スズメ	8	6%		0%	8
14		アトリ	カワラヒワ	2	1%		0%	2
15		ホオジロ	アオジ	2	1%	1	1%	3
合計	7 目	15 科	15 種	136	100%	117	100%	253
				10 種		9 種		15 種

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 5 定点観察調査結果

No.	目名	科名	種名	調査時期				合計 個体数
				春季(4月)				
				P1	P2	P3	P4	
1	カモ	カモ	オカヨシガモ	0	0	0	1	1
2			カルガモ	3	1	3	4	11
3			スズガモ	0	9	0	0	9
4	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	0	0	0	1	1
5	カツオドリ	ウ	カワウ	25	7	8	11	51
6	ペリカン	サギ	アオサギ	1	1	0	0	2
7			ダイサギ	1	0	0	0	1
8			コサギ	0	1	0	1	2
9	チドリ	シギ	イソシギ	1	0	0	0	1
10		カモメ	ユリカモメ	6	4	0	0	10
11			ウミネコ	6	0	0	0	6
12			コアジサシ	0	0	2	0	2
13	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	0	1	0	0	1
14	スズメ	カラス	ハシブトガラス	0	4	0	0	4
15		ツバメ	ツバメ	3	1	0	0	4
16		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2	0	2	2	6
17		ムクドリ	ムクドリ	1	2	0	0	3
18			コムクドリ	0	0	2	0	2
19		ヒタキ	ツグミ	0	0	2	0	2
20		スズメ	スズメ	8	0	0	0	8
21		セキレイ	ハクセキレイ	0	1	0	0	1
22		アトリ	カワラヒワ	5	0	0	0	5
23		ホオジロ	アオジ	0	1	1	0	2
合計	7 目	16 科	23 種	62	33	20	20	135

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 6 (1) 鳥類確認種目録 (全調査回)

No.	種名	調査時期															
		第 1 回 (H27～28)										第 2 回 (H28～29)					
		夏季(6 月)		秋季(9 月)		冬季(1 月)		春季(4 月)		全季		秋季(10 月)		冬季(1 月)		春季(4 月)	
		北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側
1	オカヨシガモ																○
2	マガモ								○		○	○	○	○			
3	カルガモ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
4	オナガガモ												○				
5	スズガモ					○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
6	ウミアイサ						○				○						
7	カンムリカイツブリ					○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
8	ミミカイツブリ													○			
9	ハジロカイツブリ					○	○			○	○			○	○		
10	キジバト				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	カウウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	ササゴイ				○						○						
13	アオサギ	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○		○	○
14	ダイサギ	○	○	○	○			○	○	○	○	○				○	
15	コサギ	○	○		○				○	○	○	○	○			○	○
16	オオバン					○		○	○	○	○			○	○		○
17	コチドリ							○	○	○	○						
18	イソシギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	ユリカモメ					○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
20	ウミネコ	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○
21	カモメ							○	○	○	○						
22	セグロカモメ					○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
23	オオセグロカモメ		○	○	○	○	○		○	○	○			○	○		
24	コアジサシ	○	○							○	○					○	○
25	ミサゴ					○				○		○					
26	ハチクマ			○						○							
27	トビ			○	○				○	○	○		○	○	○		
28	ハイタカ								○		○				○		

表 6 (2) 鳥類確認種目録 (全調査回)

No.	種名	調査時期															
		第 1 回(H27～28)										第 2 回(H28～29)					
		夏季(6 月)		秋季(9 月)		冬季(1 月)		春季(4 月)		全季		秋季(10 月)		冬季(1 月)		春季(4 月)	
		北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側
29	オオタカ					○				○		○	○				
30	ノスリ						○				○			○	○		
31	カワセミ													○			
32	チョウゲンボウ				○				○		○						
33	ハヤブサ												○			○	
34	モズ											○			○		
35	カケス												○				
36	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	シジュウカラ	○	○	○	○		○			○	○	○	○	○	○		
38	ツバメ		○					○	○	○	○					○	
39	ヒヨドリ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	ウグイス					○	○			○	○			○	○		
41	メジロ		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
42	オオヨシキリ															○	
43	ムクドリ	○		○		○		○	○	○	○	○				○	○
44	コムクドリ																○
45	シロハラ					○	○			○	○			○	○		
46	アカハラ					○				○					○		
47	ツグミ					○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
48	ジョウビタキ					○				○				○	○		
49	イソヒヨドリ			○	○		○			○	○				○		
50	キビタキ			○						○							
51	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
52	キセキレイ											○					
53	ハウセキレイ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	セグロセキレイ												○				
55	カワラヒワ	○	○			○	○			○	○	○	○	○	○	○	
56	ホオジロ					○				○		○					○
57	アオジ					○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
58	オオジュリン											○					
59	ドバト	○	○		○	○				○	○						
合計	59 種	14 種	18 種	16 種	19 種	29 種	25 種	23 種	29 種	41 種	40 種	24 種	20 種	30 種	27 種	24 種	25 種
		19 種		22 種		34 種		29 種		47 種		29 種		34 種		29 種	

表 7 船上センサス結果比較

No.	種名	調査時期			
		春季			
		H28		H29	
		北側	南側	北側	南側
1	オカヨシガモ	0	0	0	1
2	カルガモ	3	6	9	19
3	スズガモ	0	28	7	46
4	カンムリカイツブリ	2	0	0	1
5	キジバト	0	1	1	0
6	カワウ	178	15	152	12
7	アオサギ	4	0	5	0
8	オオバン	3	0	0	0
9	イソシギ	0	1	1	1
10	ユリカモメ	1	0	3	2
11	ウミネコ	0	0	2	2
12	セグロカモメ	0	0	3	1
13	ハイタカ	0	1	0	0
14	ハシブトガラス	2	0	1	1
15	ツバメ	0	0	1	0
16	ヒヨドリ	0	1	1	0
17	ムクドリ	0	3	0	0
18	ツグミ	1	0	2	0
19	スズメ	0	0	2	0
	合計個体数	194	146	190	176
	合計種数	8 種	8 種	14 種	10 種
	合計島別種数	14 種		19 種	

表 8 ラインセンサス結果比較

No.	種名	調査時期							
		春季							
		H28				H29			
		L1		L2		L1		L2	
		個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
1	カルガモ	0	0%	4	2%	2	1%	5	4%
2	キジバト	0	0%	1	1%	4	3%	0	0%
3	カワウ	130	93%	129	79%	111	82%	104	89%
4	アオサギ	2	1%	0	0%	1	1%	0	0%
5	オオバン	0	0%	3	2%	0	0%	1	1%
6	イソシギ	0	0%	2	1%	0	0%	1	1%
7	ユリカモメ	0	0%	12	7%	0	0%	0	0%
8	セグロカモメ	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%
9	ハシブトガラス	2	1%	1	1%	2	1%	0	0%
10	ツバメ	0	0%	0	0%	3	2%	0	0%
11	ヒヨドリ	1	1%	5	3%	1	1%	1	1%
12	メジロ	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%
13	ツグミ	2	1%	4	2%	0	0%	2	2%
14	スズメ	3	2%	1	1%	8	6%	0	0%
15	カワラヒワ	0	0%	0	0%	2	1%	0	0%
16	アオジ	0	0%	1	1%	2	1%	1	1%
合計		140	100%	163	100%	136	100%	117	100%
		6 種		11 種		10 種		9 種	

表 9 定点観察調査結果比較

No.	種名	調査時期															
		春季															
		H28								H29							
		P1		P2		P3		P4		P1		P2		P3		P4	
		個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
1	オカヨシガモ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	5%
2	カルガモ	1	2%	5	15%	5	9%	3	4%	3	5%	1	3%	3	15%	4	20%
3	スズガモ	3	6%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	9	27%	0	0%	0	0%
4	カンムリカイツブリ	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	1	5%
5	キジバト	0	0%	1	3%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
6	カワウ	38	75%	18	55%	9	16%	44	66%	25	40%	7	21%	8	40%	11	55%
7	アオサギ	1	2%	0	0%	0	0%	2	3%	1	2%	1	3%	0	0%	0	0%
8	ダイサギ	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
9	コサギ	0	0%	0	0%	0	0%	4	6%	0	0%	1	3%	0	0%	1	5%
10	オオバン	0	0%	0	0%	0	0%	3	4%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
11	イソシギ	1	2%	0	0%	2	4%	3	4%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
12	ユリカモメ	0	0%	3	9%	29	51%	5	7%	6	10%	4	12%	0	0%	0	0%
13	ウミネコ	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	6	10%	0	0%	0	0%	0	0%
14	セグロカモメ	0	0%	1	3%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
15	コアジサシ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	10%	0	0%
16	チョウゲンボウ	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
17	ハヤブサ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%
18	ハシブトガラス	2	4%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	4	12%	0	0%	0	0%
19	ツバメ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	5%	1	3%	0	0%	0	0%
20	ヒヨドリ	0	0%	1	3%	4	7%	0	0%	2	3%	0	0%	2	10%	2	10%
21	メジロ	0	0%	2	6%	2	4%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
22	ムクドリ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	2	6%	0	0%	0	0%
23	コムクドリ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	10%	0	0%
24	ツグミ	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	10%	0	0%
25	スズメ	3	6%	0	0%	0	0%	0	0%	8	13%	0	0%	0	0%	0	0%
26	ハクセキレイ	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%
27	カワラヒフ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	5	8%	0	0%	0	0%	0	0%
28	アオジ	1	2%	1	3%	2	4%	0	0%	0	0%	1	3%	1	5%	0	0%
合計		51	100%	33	100%	57	100%	67	100%	62	100%	33	100%	20	100%	20	100%
		9 種		9 種		11 種		10 種		12 種		12 種		7 種		6 種	

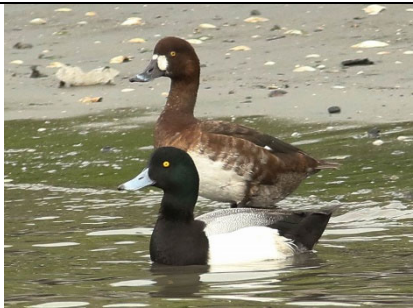
 オカヨシガモ	 スズガモ(重要種)
 カンムリカイツブリ(重要種)	 カワウ(巣上の親と雛)
 アオサギ	 オオバン(重要種)
 イソシギ(重要種)	 ユリカモメ
 ウミネコ	 コアジサシ(重要種)

写真 2 (1) 鳥の島で確認した主な鳥類

 ハヤブサ(重要種)	 ツバメ
 ヒヨドリ	 ムクドリ
 コムクドリ	 スズメ
 ハクセキレイ	 アオジ

写真 2 (2) 鳥の島で確認した主な鳥類